

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.8 (2016.11.28)

平成 28 年度スローガン
創業 140 周年に向けて！
みんなで目指す顧客感動経営
～和賀組さんで良かったといわれよう～

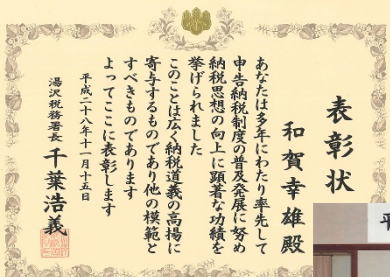
株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

11月5日からおよそ一週間、アメリカに出張する機会を頂きました。年に一度開催されるNAR(The National Association of REALTORS-全米不動産協会-)の年次大会への参加と住宅および不動産取引の状況視察が目的でした。アメリカの住宅市場は供給量の85%が中古物件で、新築の注文住宅というのはほとんどありません。ここが日本との決定的な違いでした。また欧米ではリーマンショックのようなケースを除き基本的に住宅は経年とともに価値が上昇します。3000万円で購入した家が10年後に4000万円になるといった具合です。もちろん設備や電気あるいは仕上げなどのメンテナンスにもコストをかけていますが、日本のように徐々に価値が低減し最終的に滅失するというようなことはないのです。

国土交通省住宅局はこうした日本の住宅事情を改善すべく数年前から研究会を発足させており、将来的には日本も良質な中古住宅マーケットが構築されるものと思われれます。しかし現実的課題としては①どんなにリフォームしても中古住宅は20年でゼロ評価②物件の詳細な情報が開示されず買取再販ビジネスが普及しない③金融機関の担保評価と資金提供などの問題が挙げられます。また欧米では有資格の第三者によるインスペクション(検査)が義務付けられており、日本においても国土交通省が今年、中古住宅を安心して売買できるよう、専門家が家屋の傷み具合を調べる住宅診断を促進する方針を決めました。売買の仲介契約時に、住宅診断を行うかどうかを売り主や買い主に確認するよう不動産仲介業者に義務付けるもので、宅地建物取引業法を改正し2018年の施行を目指しています。これは新築物件にも該当するもので、当社ではこの検査ビジネスに今年から参入しておりすでに数棟の実績があります。

宮沢賢治が1927年に「盛岡中学校校友会雑誌」へ寄稿した「生徒諸君に寄せる」の冒頭に、「諸君はこの颯爽たる諸君の未来圏から吹いて来る透明な清潔な風を感じないのか」とあります。ダーウィンは「種の起源」の中で、「隕石の衝突で地球環境が激変して恐竜などの大型生物が絶滅し昆虫などの小さな個体が生き延びた、恐竜は環境に適応できず昆虫はそれができたからだ」と述べています。このことは強いものが生き残るとは限らず、環境の変化に対応できたものが生き残るのだということを教えてくれます。私たちは常に澄み切った心で「未来から吹いてくる風」を感じ、変化を続ける外部環境に対応するべく新たなビジネスチャンスを探索しながら、自らも常に変革を続けていかねばならないのだと思っております。

湯沢税務署より表彰状を頂きました！



11月15日、湯沢税務署より表彰されました。これは湯沢法人会の理事として、申告納税制度



の普及発展に貢献したとの理由によるものでした。税金を沢山払っているからではありません。

秋田大学で講義をしてきました！



秋田大学工学資源学部土木環境工学専攻の学生(3年生)に社会人講師として90分お話をし

て参りました。「社会人に求められる資質とは」を軸に、現在の建設業界を取り巻く課題等を話しました。県外出身の学生が8割で、しかも殆どが公務員希望ということでした。



